私たちの製品は、いつもお客様とのコミュニケーションから生まれます。
祥文社印刷株式会社
SHOBUNSHA Printing Co.,Ltd
本　社　〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4丁目15番17号 TEL.092-411-1611 FAX.092-411-1609
東京営業所　〒107-0052 東京都港区赤坂5丁目1番7号 赤坂レジデンシャルホテル770号室 TEL.03-5785-2625 FAX.03-5785-2627
http://www.shobunsha.net

長崎西高福岡同窓会

第14号
発行　長崎西高福岡同窓会
連絡先　福岡市博多区博多駅南2-3-2 南トライシステムラボ内 TEL 092-415-1805
題字は南川健二氏（7回）

今年で19回目となった「長崎西高福岡同窓会定期総会・懇親会」が6月25日（土）16時から、アークホテルロイヤル福岡天神で開催された。定期総会では平成27年度の活動報告、会計、監査報告、平成28年度の活動案の報告などが行われ、全ての議案は満場一致で承認された。懇親会には約200名が集い、親交を深め合った。今年の幹事団は1の付く回生の皆さんで、井澤哲さん（31回生）が実行委員長、総合司会は松竹恵里子さん（31回生）。ジャズバンドの力強い演奏で開会、規模を拡大した抽選会などで会場は盛り上がった。西敏男先生（旧職員）による万歳三唱は「西高愛」に溢れるスピーチと相まって、閉会に相応しい感動的なものとなった。伝統の重さと、伝統を引継ぐ責任の重さを痛感しながら会は来年の幹事団、2の付く回生へ引き継がれた。

第19回同窓会
『自律の園』伝統は世代を超えて

これぞ西高伝統の結束力

幹事・実行委員長　井澤　哲（31回生）

♪眸をあげよ…風輝かし　丘の上心は清く凛として　眉秀でたる若人よ…♪（大好きなフレーズ）

今回の第19回長崎西高福岡同窓会の実行委員長を経験し、あらためて長崎西高の素晴らしさを再確認しました。10年前、私達31回生は1人しか出席しておらず、21回生の先輩方に大変ご迷惑をおかけしました。陳謝します。今回は31回生最多の23人が出席。10年の歳月がこれほどまでに人を成長させてくれるのかという思いで、ここぞと言う時の結束力は、西高の伝統の力だと思い直しているところです。

私は西高からほど近い富士見町に7人兄弟の末っ子（6男）として生まれてきました。両親は共に大正生まれで共に被爆者です。戦争経験のある厳しい父とお喋り好きの優しい母のもとですくすくと育ちました。幼少の頃はガキ大将で、近所では有名な「はっくん」のあだ名で呼ばれてストリートサッカー選手になりたいという夢を持って、高校もサッカーの強い私学に行く予定でしたが、中学の時、母が胃がんで大手術をし、いろんな面でお金がかかるようになったので、近くの公立高校に行ってくれと言われたので、中学の担任から「逆立ちしても入らんよ！」と言われた西高を〝親孝行〟と思い受験し見事合格?!

乾杯の音頭　澤村 徹様（在京同窓会会長・31回生）

西高時代

入学当初は、高校にサッカーしに来たのに、何で毎日勉強しなくちゃいけないの…?と思い、毎日母に転校させてくれ…とぼやいてました（笑）。その母も高校3年の卒業後に他界しました。

「長崎西高が素晴らしいのは、現役生や校長が良いのではなく（笑）、このOBの皆様の西高を想う気持ちや団結力が現役生徒にコダマし、響き渡ることによって素晴らしい校風を醸し出し、西高卒ではない私や他の先生方も西高の教鞭を取ったということだけで〝西高族〟と言い合って結束し、集まれることを誇りにしております」

このような感動的な言葉で締めくくって頂き、来場の2200名の同窓生の顔は、まるで西高の休育館での先生の訓示でも聞いているかのように笑顔いっぱいでした。これからも若い世代がこの気持ちを引き継ぎ〝長崎西高ここにあり〟と言われるように自他ともに認めあえる〝長崎高1高校〟で有り続けましょう！

いつも同窓会の為に尽力賜る役員幹事様、31回生のみなん、山口セイコーカルテット様、アークホテルスタッフ一同様、本当にありがとうございました。

これが私の人生の転機で、現在55歳となり、西高で過ごした時から、幼少の頃はガキ大将で、近所では有名な「はっくん」の呼ばれてストリートサッカー選手になりたいという夢を持って、高校も西高を〝親孝行〟と思い受験し見事合格?!

入学当初は、高校にサッカーしに来たのに、何で毎日勉強しなくちゃいけないの…?と思い、毎日母に転校させてくれ…とぼやいてました（笑）。その母も高校3年の卒業後に他界しました。

《西先生のコメント要旨》

「長崎西高が素晴らしいのは、現役生や校長が良いのではなく（笑）、このOBの皆様の西高を想う気持ちや団結力が現役生徒にコダマし、響き渡ることによって素晴らしい校風を醸し出し、西高卒ではない私や他の先生方も西高の教鞭を取ったということだけで〝西高族〟と言い合って結束し、集まれることを誇りにしております」

閉会の西先生の万歳三唱は、私が実行委員長を引き受けた時から〝締めは西先生で…！〟と決めてました。

同窓会を開催できるありがたさ！

福岡同窓会会長　柳瀬　雅子（25回生）

福岡同窓会会長、25回生の柳瀬雅子でございます。平成28年度、第19回定期総会及び懇親会は6月25日に開催されました。総勢193名の同窓の皆様、ご来賓の方々、ご来場いただきまして本当にありがとうございました。昨年11月のフランスでのテロや今年4月の熊本地震など、世界情勢や天変地異を考えますと、このように同窓会が開催幹事でした。31回生の井上だと感謝しております。澤さんが委員長となり、早熊本地震では、鹿央ゴルフクラブ支配人（33回生横瀬さん）から水やお風呂の提供ができるという情報を同窓会に頂きました。熊本に知り合いが居れば伝えてほしいということでした。同窓の絆から更に広がる支援であり、素晴らしいと思いました。私も会社の熊本事業所（益城町）に何度か支援に行きましたが、仮設住宅がやっと出来たところです。まだまだ皆様、この深い爪痕をお忘れなきようお願いいたします。

今年は1の付く回生が当番幹事でした。31回生の井上が、鹿央ゴルフクラブ（33回生横瀬さん）から水やお風呂の提供ができるという情報を同窓会に頂きました。熊本に知り合いが居れば伝えてほしいということでした。同窓の絆から更に広がる支援を重ねることにハーモニーが良くなっていると思いました。私も会社の熊本事業所（益城町）に何度か支援に行きましたが、仮設住宅がやっと出来たところです。まだまだ皆様、この深い爪痕をお忘れなきようお願いいたします。

また、手前味噌ですが西高福岡同窓会コーラスも回を重ねるごとにハーモニーが良くなっていると思います。くにか先生、これからもご指導おねがいします。最後に万歳三唱をしていただいた西先生のお言葉は感極まるものでした。「現在の西高の繁栄は、各同窓生の熱気があってこそのものである」という言葉は、私達同窓会に参加するものにとって最大のエールでした。西先生、ありがとうございました。

先輩方が手弁当で各会を作り上げ、後輩も続いた成果は確実に実を結んでいます。この同窓会を続けて行くみんなも若い方の獲得が必須ですが、福岡同窓会「わっかもんクラブ」は、秋に開催予定です。どうぞ皆様ご協力をお願いします。

それでは皆様、健康に気を付けて年に1回の健康診断を受けてください。そして来年もいらしてください。また会える日を心から楽しみにしております。

非日常の感動を得て!!

幹事・総合司会　松竹　恵里子（31回生）

今年の同窓会は総勢31回生が当番回生との連絡を受け、4月に事前打ち合わせ、4月に事前打ち合わせと称した飲み会に参加致しました。ここ数年同窓会自体に参加できなかったのでこの集まりには是非行かねばと出かけてみると、その場が31回生同窓会のような人数でした。これぞ西高の結束力と思った始まりでした。もちろん当日も受付、配布資料作りと役割が有りしっかりお手伝いさせてもらうつもりでした。しかっどこでどうなったのか私割が巡ってきました。日頃ご無礼していた負い目もあり、断ることはできません。お役に立てるのであればと引き受けさせてもらいました。

同窓会当日、31回生は準備も兼ねて早めの集合でした。

当番幹事引き継ぎ　来年は2の付く回生の皆さん

私も進行チェックの為に会場で細々としたことを確認しておりました。ちらほら参加の皆様が集まって来られる中、母と変わらない年代の大先輩から お声をかけて頂きました。「あなたは山里中出身？マツタケっていう名前の人が私の学年にもいたんだけどねえ、ご存じっ！」どこまで遡ったら この方の年代と繋がるのかまでたどり着いた次第でん。「あぁ、そうですね…」私も結婚してこの姓になりましたので…義理の母の同じお歳の人がいるのかと思ってびっくりしました。

あらためてこの日を振り返りますと、地元でもないのに2000人の西高卒業生が一同に揃うことにも驚きつ大きさに気づくことができませんでした。こんな私ですので、先輩が築きあげてきた歴史と後輩が守ってくれた伝統の中で美味しいと取りをしている気分です。

久しぶりにアルバムを開いてみました。大好きだった荒井由実の唄が沁みてきます。

♪人ごみに流されて
変わっていくわたしを
あなたはときどき
遠くでしかって
あなたはわたしの青春
そのもの♪

私をこれからもずっと正してくれるであろう「西高」。また来年も背筋を伸ばしてもらうために同窓会に参加しよう、と改めて思ったのでした。

関西同窓会からエール

関西同窓会会長　原　清（23回生）

あって関西地区に出てきている、というキーワードで、親元を離れ関西地区に進学した学生諸君を迎え入れ、春にはバーベキュー大会を開催したり、秋には総和56年夏、母校野球部の甲子園出場を機に発足しました。関西同窓会は35年前の昭会を開催したり（今年は10月1日）関西の名所旧跡を散策したりしています。まは「元気の源になり、役に立つ同窓会」です。**同じ学び舎で育ち、何かの縁が**あって関西地区に出てきています。

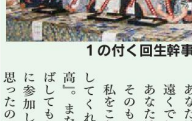
6月の福岡同窓会総会で、初めて出席しました。天神付近の街並みは、私が学生の頃から大きく変動にしていきたいと思って周りは、クリスチャンの家庭ばかりであった。

▲1949年（昭和24年）5月29日、はるばるローマからフランシスコ＋ザビエルの右手（聖腕）が、ナスタンに収められて空輸で来日し、この日浦上天主堂の仮聖壇で盛大にミサが行われた。戦後日本初の「国際行事」である。「ザビエル渡来400年祭」で、聖人のスペインへ「渡帰った以外、ローマを離れたことがない。使節団は、教皇特使ノーマン・ギルローイ枢機卿他33名と、米国他、20カ国2万人の参列者があった。起点の大浦天主堂から西坂公園まで「聖腕行列」「聖体降福式」が執り行われ、その後、6月12日まで2週間、「聖腕」は、鹿児島、大分、山口を経て、西宮、東京の特治神宮外苑をわたり、「荘厳ミサ」を行っている。驚いたことに、当時のGHQ連合軍司令長官マッカーサーは、これに対し「祝意表明」を発している。

ことができない感動でした。

40年前、多感な時期を過ごしていた頃は、自分の事が一杯いっぱいで「西高」の持ちきれないほどに提供されましたが、こんな私の中に美味しい気分で楽しいお話しは、私達同窓会に参加するものにとっても納得はできないままだったでしょうが、優しく微笑まれ「今日は司会、頑張ってね」とおっしゃりながらお席に着かれました。

会が始まると企画した内容は分刻みで進行していきます。なかなか自分の席に戻れない私を見かねて、最前列の方が飲み物を司会席まで持ってきてくださいました。説明の言葉の失礼をさり気なく教えにきてくださった先輩もいらっしゃいました。こんなお心遣いに支えられて最後の写真撮影までたどり着いた次第です。



当番幹事の皆さんお疲れ様!!

1の付く回生幹事の皆さん

平成28年度長崎西高福岡同窓会総会・懇親会出席状況

卒業回生	名簿人数	年会費1,000円	年会費納入率	総会・懇親会6,000円	出席率	前年対比（増減）
旧職員	12	3	25.0%	4	33.3%	4
瑞中回	17	9	52.9%	0	0.0%	0
1回生	3	2	66.7%	0	0.0%	0
2回生	6	3	50.0%	0	0.0%	-1
3回生	8	5	62.5%	0	0.0%	0
4回生	19	8	42.1%	3	15.8%	0
5回生	15	4	26.7%	4	26.7%	3
6回生	20	7	35.0%	1	5.0%	1
7回生	18	15	83.3%	8	44.4%	2
8回生	20	14	70.0%	0	0.0%	-1
9回生	15	7	46.7%	5	33.3%	1
10回生	9	2	22.2%	0	0.0%	0
11回生	14	6	42.9%	0	0.0%	0
12回生	28	22	78.6%	16	57.1%	2
13回生	24	7	29.2%	1	4.2%	0
14回生	34	14	41.2%	6	17.6%	1
15回生	27	14	51.9%	5	18.5%	-4
16回生	24	11	45.8%	4	16.7%	0
17回生	27	16	59.3%	12	44.4%	3
18回生	28	10	35.7%	1	3.6%	-3
19回生	30	15	50.0%	4	13.3%	3
20回生	9	3	33.3%	2	22.2%	2
21回生	57	22	38.6%	9	15.8%	2
22回生	18	4	22.2%	0	0.0%	-1
23回生	22	11	50.0%	6	27.3%	-1
24回生	34	10	29.4%	4	11.8%	-4
25回生	42	17	40.5%	9	21.4%	0
26回生	7	3	42.9%	0	0.0%	0
27回生	22	7	31.8%	4	18.2%	3
28回生	25	13	52.0%	11	44.0%	2
29回生	30	7	23.3%	6	20.0%	-1
30回生	36	13	36.1%	12	33.3%	0
31回生	33	21	63.6%	24	72.7%	17
32回生	29	8	27.6%	4	13.8%	2
33回生	25	7	28.0%	6	24.0%	-1
34回生	10	0	0.0%	2	20.0%	-2
35回生	8	1	12.5%	0	0.0%	-2
36回生	21	7	33.3%	3	14.3%	0
37回生	14	8	57.1%	8	57.1%	5
38回生	25	9	36.0%	2	8.0%	-1
39回生	7	1	14.3%	0	0.0%	0
40回生	9	0	0.0%	0	0.0%	0
41回生	10	2	20.0%	0	0.0%	0
42回生	13	0	0.0%	0	0.0%	0
43回生	10	0	0.0%	0	0.0%	0
44回生	7	2	28.6%	2	28.6%	0
45回生	1	1	100.0%	1	100.0%	0
46回生	8	0	0.0%	0	0.0%	0
47回生	1	0	0.0%	0	0.0%	0
48回生	1	0	0.0%	0	0.0%	0
49回生	4	1	25.0%	1	25.0%	1
50回生	5	1	20.0%	0	0.0%	-1
51回生	1	0	0.0%	0	0.0%	0
52回生	9	0	0.0%	0	0.0%	0
53回生	0	0	0.0%	0	0.0%	0
54回生	2	1	50.0%	1	50.0%	0
55回生	5	0	0.0%	0	0.0%	0
56回生	4	0	0.0%	0	0.0%	-1
57回生	2	0	0.0%	0	0.0%	0
58回生	2	0	0.0%	0	0.0%	0
59回生	4	3	75.0%	2	50.0%	2
60回生	1	0	0.0%	0	0.0%	0
61回生	2	0	0.0%	0	0.0%	0
62回生	1	0	0.0%	0	0.0%	0
63回生	3	0	0.0%	0	0.0%	-3
64回生	40	0	0.0%	0	0.0%	0
65回生	61	0	0.0%	0	0.0%	0
66回生	56	0	0.0%	0	0.0%	0
67回生	50	0	0.0%	0	0.0%	0
68回生	46	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	1,230	377	30.7%	193	15.7%	29

来賓者　5名

ちこく坂

昭和29年頃の解体前の浦上天主堂　著者撮影

▲1955年（昭和30年）12月、長崎は国内初の姉妹都市として、米国セントポールと提携している。翌56年、長崎田川市長は、なぜかワシントンを訪問し国務省の関係者と会っている。ついで、広島市がフィラデルフィア市と言われた長崎で400年間絶えることなくキリスト教の信仰を継いだ「浦上の地」を、改めて見守った。昨年2015年11月、ワシントン国立公文書館での「聖腕四百年祭」の写真も発見された。

▲「ザビエルの聖腕」は、平和と復興の祈りとこの象徴であろうが、決して、核の危険性を認魔化するための「ちこく坂」の丘。昨年2015年11月、ワシントン国立公文書館での「聖腕四百年祭」の写真も発見された。

▲「ザビエルの聖腕」は、平和と復興の祈りとこの象徴であろうが、決して、核の危険性を認魔化するための「ちこく坂」である。私たちは、永遠に「校歌」の言葉とおり、「平和の鐘を鳴らしつづけよ」べく、こだまをあきらめなければならない。　立石　勝英（23回生）

【ザビエルの聖腕】

▲西高7回生の卒業アルバムを、あって見せていただいた。アルバムの裏表紙には、まだ昭和20年代の古い長崎の観光地が切り取るように載っていた。ふと見ると、まだ取り壊されるまえの「浦上天主堂」の姿がのっていた。実は私はこの浦上天主堂の裏（本尾町）で小学3年まで育った。▲1949年（昭和24年）5月29日、はるばるローマからフランシスコ＋ザビエルの右手（聖腕）が、ナスタンに収められて空輸で来日し、この日浦上天主堂の仮聖壇で盛大にミサが行われた。戦後日本初の「国際行事」である。「ザビエル渡来400年祭」で、聖人のスペインへ「渡帰った以外、ローマを離れたことがない。使節団は、教皇特使ノーマン・ギルローイ枢機卿他33名と、米国他、20カ国2万人の参列者があった。起点の大浦天主堂から西坂公園まで「聖腕行列」「聖体降福式」が執り行われ、その後、6月12日まで2週間、「聖腕」は、鹿児島、大分、山口を経て、西宮、東京の特治神宮外苑をわたり、「荘厳ミサ」を行っている。驚いたことに、当時のGHQ連合軍司令長官マッカーサーは、これに対し「祝意表明」を発している。

4回生から59回生まで 笑顔の193名 リオ五輪YEARに集う

第19回 福岡同窓会・懇親会(6月25日)(アークホテルロイヤル福岡天神)

(4・8回生)

(5・6・12回生)

(9・29回生)

(12・13回生)

来賓の皆さん

赤いバラをつけた方が来賓の方々です

(来賓・旧職員・会長)

(14・15回生)

(16・18・19回生)

(17回生)

(20・21回生)

(23・24回生)

(25・27回生)

(28回生)

(30回生)

(31回生)

(29回生)

(32・44・45・49・54・56回生)

(33・37回生)

(34・35・36・37・38回生)

初参加の不安は一瞬で解消

松添 香菜子(59回生)

はじまして。59回生の松添香菜子と申します。今回の懇親会は、初めての参加でしたが、とても楽しい時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

今年の4月、ちょうど59回生の集まりがあるとのお話を聞いたときに、「参加したい!」と思ったのですが、実際参加するまでは、やっぱり知らない人ばかりだったらどうしよう…という不安もありました。

しかし、実際参加してみると、皆さんとても気さくで、あっという間に打ち解けることができました。

今回の懇親会では、先輩方のお話がとても面白かったのはもちろんのことですが、同期の方々とお話ができたのも、とても楽しかったです。

今回、参加してみて、一番印象に残ったのは、「同窓会」という言葉の重みです。

先輩方が築かれた歴史、伝統、そして、今、私たちが、その歴史の一部であるということ。

「同窓会」という言葉の重みを感じました。

今、私たちが、その歴史の一部であるということを、誇りに思うとともに、これから、その歴史を、次の世代へ、どうつなげていくか、ということを、考えていかなければならないのだ、と思い

塚原末子先生を悼む

江口　弘文（15回生）

昭和40年頃

平成27年12月17日、塚原末子先生がおしくなりになった。享年92歳。卒寿を贈られた。私が求寿を越えてお意気軒高な先生だった。

油木町の先生のお宅に初めてお邪魔したのは高校3年の夏、仲間の北村紘君、相良明夫君と三人だった。以来、半世紀を越えて親しくご指導を頂くことになったのである。学生時代の4年間は特によく話をした。人生の話、学生生活の話、恋愛の話など尽きることがなかった。それらの話の中で先生は聞き役のことが多かった。先生ご自身の個人的な体験について話をされることはなかった。昭和20年8月9日、三菱製鋼所茂里町工場本館2階で被爆されたことも、先生の口から直接聞いたことは一度もなかった。

そのことを初めて知ったのは、長崎県立高等女学校42回生が編集した「あの日あの時」という被爆体験記によってである。先生からお好きで、散歩の途中で急に「ちょっとそこに立ってらっしゃい」とカメラを取り出された。今から思い起こせば、あの散歩の時もなお思想だったのではないかと思う。先生の口癖は「国家権力の言うことを真に受けてはいけない」「国民は国のうちに軍国主義への道を歩まされた」である。この言葉だけを安易に書けば、そのまま左翼思想に結び付けられかねないかも知れないが、先生の本心はまさに額面通り「知識の過去を知ることはできなかった。

昭和45年頃

先生は県立高女からお茶の水女子大学に進学され、防衛庁技術研究本部に就職が決まった時「どうして？」と言われたときのことは今昭和19年9月に卒業されて一度も記憶に新しい。あの時代はまだ、戦後のインテリの徒たちの巡回に行かれていた時だった。

先生は被爆直後のことを思い出されていたのかも知れない。しかし、そのことについては見事なほどに一言も話をされなかった。あるいは先生に限らず、極端な体験をした人は、その記憶を封印してしまう本能が働くのかも知れない。先生の日頃の言動から、被爆体験人としての見識を持たなさい」ということだったのだと思う。

大学を卒業して、私が昭和41年に入社した頃は、先生は戦後のインテリ特有の左翼思想ということではなく強いて言えば反権力的な思想だったのではないかと思う。先生の口癖は「国家権力の言うことを真に受けてはいけない」「国民はなし崩しのうちに軍国主義への道を歩まされた」である。この言葉だけを安易に書けば、そのまま左翼思想に結び付けられかねないかも知れないが、先生の本心はまさに額面通り「知識情報である。いろいろな手術を体験しておられたのだろう。何しろ被爆直後に生死を彷徨われたお体である。後遺症が出てもおかしくない。

先生のお留守の原因はも一つあった。入院である。原爆病院にも入院されていたが、それさえなき事後の入院は、学生の受験に失敗した私は九州工業大学の学寮の一室で一人、三太郎の日記を読んで過ごした。そういう時、九州大学に進学した相良君と一緒に突然学寮を訪ねて来られたことがあった。恐らく、失意の私の慰問だった頂いた。この本がその後、私が多少なりとも文学に興味を持つようになる入門書になったのである。京都大学の受験に失敗した私は九州工業大学の学寮の一室で一人、三太郎の日記を読んで過ごした。そういう時、九州大学に進学した相良君と一緒に突然学寮を訪ねて来られたことがあった。恐らく、失意の私の慰問だったのだろう。寮内放送で呼び出されたときの嬉しさは今でも記憶に残っている。500人が起居する学寮生活の日曜日は何故かひどく侘しかったのである。

後に私が、長崎の郷土史に興味を持つようになった時も、先生の紹介で長崎史談会に入会させていただいた。私がまだ東京に住んでいた頃のことである。興味の対象が長崎奉行から永井隆博士に移っていった頃、先生と久松シゾノさんに会いしたのも先生の紹介だった。この時久松さんは、三山町の長崎第11医療隊救護所跡を案内していただいた。被爆直後、永井博士一行は三山町で被爆者の治療に当たられていたのである。久松さんから年賀状が来なくなってもう何年になるだろう。勿論、先生からの年賀状も、もう来ることはない。

先生との記憶をたどりだすと取り留めもない。このあたりで話を収束させよう。長きにわたって先生のご指導を得た者の務めとして、先生の御遺志を後輩の人々にも伝えておきたい。ただ一言「真贋を見極める見識を身につけよ」である。

人知れず
消えゆく矜持
冬の月
弘文

合掌

平成14年　花月にて

平成26年8月　ホテルニュー長崎にて

同年10月に母校に奉職され、翌20年4月から茂里町軍隊ということにアレルギーが残っていた。それから30数年が過ぎて、私が研究所を退職し私学に転じた時は、嬉しそうな表情をさされた。その後も「どんな講義をしているのか、私も聴いてみたいわ」とよくおっしゃっていた。

先生の考え方が私なりに理解できるようになったのは大学への転職後のことかも知れない。還暦に近くなってからのことである。先生は戦後のインテリ特有の左翼思想ということではなく強いて言えば反権力的な思想だったのではないかと思う。先生の口癖は「国家権力の言うことを真に受けてはいけない」「国民はなし崩しのうちに軍国主義への道を歩まされた」である。

江口 弘文

多くがそうだったように、お見舞いに伺いたいと入院先に手紙を出したが、返事はなかった。お見舞いを嫌がられることは十分に予測できていた。「急なことがしかしたら特別な意中の人あった場合には？」と逆回しに聞いても、いつも話をはぐらかされていたのである。

結局、告別式にも間に合わなかった。お盆の15日、ホテルニュー長崎の中華料理店で食事したのが最後になった。「お話ししながらだと少しは食欲が出るかと思って」と言われていたけれどデザートに少し手を付けられた程度だった。しかし、それでもなお先生は寿命のことは考えられていなかったと思う。退院してからまた連絡しようとだったのではないだろうか。

話はたびたび前後するが、西高を卒業するときに先生から「三太郎の日記」を

お「なし崩しに戦争に駆り出された学徒動員の兵士たち」の慰霊の旅を続けられていた。先生から「きけわだつみのこえ」を頂いたのは高校3年の時だった。もしかしたら特別な意中の人がいらっしゃったのかも知れないが、先生の海外旅行の多くは太平洋戦争の激戦地への慰霊の旅だったのではないだろうか。しかし、先生の海外旅行は高校3年の時だった。もしかしたら特別な意中の人がいらっしゃったのかも知れないが、先生の海外旅行の多くは太平洋戦争の激戦地への慰霊の旅だったのではないだろうか。レイテあたりによく行かれたのではないだろうか。

月末のことである。早速、先に手紙を出したが、返事はなかった。お見舞いを嫌がられることは十分に予測できていた。「急なことがあった場合には？」と逆回しに聞いても、いつも話をはぐらかされていたのである。

西高愛No.1

西　敏男（旧職員S47～60年）

西高に在職した元職員達は、妙に「集まりたがり屋」が多い。集まると「我こそは西高愛No.1だ」とか「我こそは4人目の校長先生だっただ」などと、根拠のない年配の多くの方々が「林田光晴」を誇らしく口にする。「この先生の授業を受けていない者は、西高生じゃなか」とさえ断言する。卒業生達の伝説によれば、彼は若き時代から西高の物理教師として抜群の信頼だった。物理の授業は痛快で滑稽で、時を忘れさせた。何より勉強嫌いな生徒を虜にした名言がある。「試験の点数など、物理学の世界にだ」がそれだ。これら同窓生の語る林田伝説は枚挙に暇がないが、残念ながら紙幅が許さない。

「西高愛No.1」を語る時、私が忘れない林田校長の日のことを語ろう。それは3月31日、彼の退職の日だった。離任式や終業式などの慌ただしい校長挨拶を一通り終えて、校長先生は職員室を後にするかと思った。そのとき、ちょっと思い直したように立ち止まって、「あのなあ」と語りかけた。今までの格式張った口調から、少しくだけた表情になった。

「あのなあ、僕は西高が好きでなあ。竹の久保に住んでいるから、退職しても西高の周りをウロウロするかも知れんけどな。そのうち認知症になって、ボケ老人になって、ますます西高が好きになってなあ、校舎の中に入って来て迷惑掛けるかもしれんよ。そん時は、諸君、頼むけい。よろしくな」

軽妙な口調だったから、生徒達からは、笑いがさざめいたが、やがて温かい西高生の拍手に包まれて彼は壇を降りた。彼は毎年3月末に、大工町のホスピス「ももたに」に入院されたときも、そこで永眠されたときも、何の知らせもなかった。

兄（9回生）から先生の入院の報を受けとったのは昨年10月末のことである。早速、お見舞いに伺いたいと入院先に手紙を出したが、返事はなかった。お見舞いを嫌がられることは十分に予測できていた。「急なことがあった場合には？」と逆回しに聞いても、いつも話をはぐらかされていたのである。

西先生

当窓前春の中尾校久（31回生）

1978年修学旅行先にて

平成11年10月　東京恵比寿ガーデンプレイスにて

一昨年（平成26年）の同窓会に参加の塚原先生

～インフォメーション～

★オペラ『秘密の結婚』

永渕くにかさん（49回生）出演のオペラ公演が10月7日アクロス福岡シンフォニーホールで行われます。
お誘い合わせの上、ぜひご鑑賞ください。

日　時：10月7日（金）
18:00 開場、18:30 開演
場　所：アクロス福岡 シンフォニーホール
チケットのお問合せ：090-4987-9283　永渕くにか

平成27年度　長崎西高福岡同窓会会計報告

自：平成27年4月1日 ～ 至：平成28年3月31日　（単位：円）

収入の部			支出の部		
科目	内訳	金額	科目	内訳	金額
繰越金	前期繰越金	1,045,054	総会および懇親会会費	ホテル会場費、飲食費	913,768
年会費	1,000 × 415 名	415,000		幹事運営費（商品代ほか）	58,927
総会および懇親会会費	会費 6,000 × 164 名	984,000	若っかもん倶楽部	食事代補填	10,000
				行事合計　982,695 円	
ご祝儀	本校同窓会	50,000	事務費	役員会など会場費	45,842
	関西同窓会	10,000		会報誌印刷代	172,800
				その他印刷費など	56,027
会報誌広告		114,000	通信費	案内状送付・返信はがきなど	221,794
ストラップ販売		57,500		振込手数料	32,688
その他	寄付金（塚原先生、末吉孝美様）	15,000	雑費	制服クリーニング代	740
				2015年同窓会準備金	100,000
	2015前年度総会準備金清算	100,000		他地区同窓会参加費（本校、在京、東海、関西）	130,000
				事務費など合計　759,891 円	
			その他	新・西高ストラップ制作	399,600
				その他合計　399,600 円	
	今期収入合計　1,745,500 円			**今期支出合計　2,142,186 円**	
			繰越金	次期繰越金	648,368
計		2,790,554	計		2,790,554

次回第20回総会予定

日時： 平成29年6月24日(土) 16:00～
場所： アークホテルロイヤル福岡天神
会費： 7,000円(含年会費1,000円)

来年は2の付く回生の皆さんが当番幹事です

長崎西高福岡同窓会ゴルフ会の御案内

ゴルフ会会長　前田　弘文（14回生）

長崎西高福岡同窓会ゴルフ会は、年2回開催しています。
今年は、5月26日（木）福岡国際カントリークラブで開催致しました。
参加者は、14名と若干少なめでしたが、皆さん楽しくプレーしました。
次回は、11月10日（木）スタート9：06筑紫ヶ丘GCに於いて開催予定です。
新規参加者も大歓迎です。
参加ご希望の方は、下記、メール・TEL・FAXにて御連絡お願いします。

事 務 担 当：17回生　成瀬　益雄
メールアドレス：masuo-naruse@jcom.home.ne.jp
携 帯 電 話：090-1087-9786
電話・FAX：092-811-0627

SMBC日興証券
いっしょに、明日のこと。
Share the Future
CA家
カスタマーアドバイザー
小　森　千賀子（37回生）
AFP（日本FP協会認定）
SMBC日興証券株式会社 西谷支店
東京都渋谷区渋谷2-20-12 TEL0202
TEL(03)3400-9111 FAX(03)3406-4124
TEL(03)3400-7365(直通)
E-mail kamori_chikako@nikkoeiji.co.jp
www.smbcnikko.co.jp

CONSULTANTS Inc.
FP業務本部 福岡第一支社
AFP（日本FP協会認定）
賀川 浩二（38回生）
KOJI KAGAWA
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-8-239 JF
TEL 092-738-0018 FAX 092-738-0628
携帯 070-5816-1231 [E-Mail] k.kagawa@holiefp.com

GRANDVRIO HOTEL ASO RESORT　阿蘇リゾート グランヴィリオホテル
Special Plan
《阿蘇のいい露天風呂プラン》～11,610円・1泊2食付～
★1名様につき500円の館内利用券付き！
★お部屋のグレードアップ！（外輪山側向きのお部屋）
★岩盤浴1時間無料！（女性のみ）
★休前日も同一料金！
※電話予約の際【長崎西高校OB会】とお申し付けください。
ご利用当日に、ご身分を確認できるものをご提示ください。
〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水米塚温泉
TEL:0967-35-2111 FAX:0967-35-1124【担当／百瀬】

おいしい珈琲とかすてらの店
幸福寺通り 鵜尾
かすてら珈琲
Castella Cafe
★自由飛行館
KIYORO RAIFU MEMORIAL
名物 しっとり・ほのぼの 焼きカステラ
サクふわ
長崎市鍛冶屋町6-32 三浦ビル1F（崇福寺向かい）☎095-823-4134 営10:00～18:00

地下鉄「天神駅」から徒歩5分。西鉄・JR・お車でのアクセスも至便な当ホテルは、結婚式場も備えた都市型ホテルです。お気軽にお問合せ下さい。
ROUTE INN HOTELS
アークホテルロイヤル福岡天神
福岡市中央区天神3-13-20
092-781-8700（営業グループ直通番号）

スペイン菓子
San Onofre サン・オフレ
オーナーシェフ 山口 正見 Masami Yamaguchi
〒851-2106 長崎県西彼杵郡琴海戸町大島2-10-1
Tel：095-860-8180 Fax：095-860-8181
Mobile：090-3947-6914
E-Mail：masaonofre@q.vodafone.ne.jp
http://san-onofre.com/

株式会社 J★Links
SORALIO
代表取締役 山崎 二郎（36回生）
〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目8-49 ヒューリック福岡ビル7階 ヒューネルFEA内
Mail：jyamasaki@j-links.jp / 代表電話：092-751-8100 / 個人携帯：090-3326-8789

HUNEL FEA
全日本保険FP協会
種類別都市生命保険協会認定FP
支社長 山崎 二郎 Jiro Yamasaki（36回生）
株式会社ヒューネルエフイーエー 福岡支社
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目8番8号 ヒューリック福岡ビル7F
Tel：092-751-8100 Fax：092-751-8101
E-mail：jyamasaki@hunelfea.co.jp URL：http://www.hunelfea.co.jp
Mobile：090-3326-8789